

# 六ヶ所・核燃料サイクルセミナー

の開催について

日本原子力研究開発機構は、我が国初の商業用再処理工場である六ヶ所再処理工場への技術支援及び技術開発協力を行っております。

本セミナーは、「核燃料サイクル研究開発の現状」を副題とし、核燃料サイクルの将来を視野に入れて、最新の技術開発及び広く応用が期待される基盤的研究開発について報告するとともに、幅広い視点からの議論を踏まえ、今後の研究開発の在り方について意見交換することを目的としております。



(昨年の講演風景)

日時

平成 28年 8月 5日 (金)

場所

六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」 大会議室

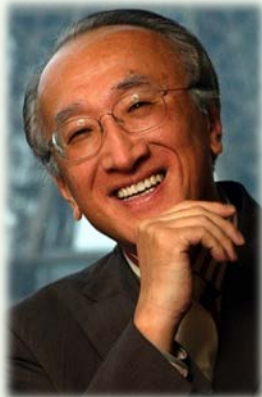
セミナー 〈 13 : 00-17 : 30 〉

参加無料

基調  
講演

## 「嵐の中のエネルギー戦略

～ 低石油価格時代と持続可能な原子力技術 ～



公益財団法人笹川平和財団より

経済協力開発機構（OECD）科学技術産業局長、国際エネルギー機関（IEA）事務局長など、多彩な経歴をお持ちで国際エネルギー情勢に詳しい「公益財団法人笹川平和財団 **田中伸男** 理事長」より我が国の原子力事情等について御講話を頂戴いたします。

講演

（裏面参照）

I 【 原子力を支える基礎基盤研究 】

II 【 サイクル技術を支える技術開発 】

主催：日本原子力研究開発機構

共催：東京工業大学、東北大学

協賛：日本原燃株式会社、原子力バックエンド推進センター

後援：青森県、六ヶ所村、日本原子力学会東北支部

## 講演Ⅰ

## 原子力を支える基礎基盤研究

座長：新堀 雄一（東北大学大学院量子エネルギー工学専攻長 教授）

- 「原子炉を用いた資源創生 ～中性子捕獲反応による放射性廃棄物の分離変換工学～」  
小澤 正基（東京工業大学 名誉教授）
- 「東北大学六ヶ所村分室における超高感度半導体検出器の開発」  
人見 啓太郎（東北大学大学院量子エネルギー工学専攻 准教授）
- 「核種分離プロセスの放射線環境下への適用に関する研究」  
伊藤 辰也（東北大学大学院量子エネルギー工学専攻 助教）
- 「高温高压水中で合成した化合物の質量分析技術に関する研究」  
本間 哲雄（八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 准教授）

## 若手研究者によるポスターセッション

## 講演Ⅱ

## サイクル技術を支える技術開発

座長：小澤 正基（東京工業大学 名誉教授）

- 「照射済燃料を出発原料とした小規模M Aサイクル実証研究（SmART研究）の概要」  
小泉 務（原子力機構 高速炉研究開発部門 燃料サイクル技術開発部 技術主席）
- 「キャピラリー電気泳動法による放射性試料に対する簡易・迅速分析法の開発」  
原賀 智子（原子力機構 原子力科学研究部門 バックエンド技術部 研究副主幹）
- 「リチウム資源循環型社会を目指したイオン伝導体による海水からの新分離技術」  
星野 毅（量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所 上席研究員）
- 「『次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業』これまでの成果について」  
吉岡 正弘（日本原燃株式会社 フェロー（ガラス固化技術））

## 会場のご案内



## ■ お問い合わせ



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

六ヶ所・核燃料サイクルセミナー事務局（担当：北嶋、広瀬）

電話番号：029-282-1133（内線 42024）

E-Mail：be-cycleseminar@jaea.go.jp